

### 子どもたちの心を癒す“キワニスドール”



3月24日(火)に大垣キワニスクラブより、キワニスドールおよび幼児用玩具を寄附いただきました。キワニスドールは子どもたちに治療箇所や治療方法を知ってもらうための説明への利用や心の支えとして活用されています。

同クラブの五十川智宣会長は「これまで病院や養護施設などに対し、キワニスドールの寄贈をはじめとした支援活動を行うことで、子どもたちの笑顔と健やかな成長につながる取り組みを行ってきました。今後も地域と連携し、子どもたちへの福祉支援活動を続けていきます」と話しました。

いただいた寄附は、そよかぜ高田教室とそよかぜ飯田教室において、療育ツールとして活用するとともに利用者の心を癒すために役立てます。

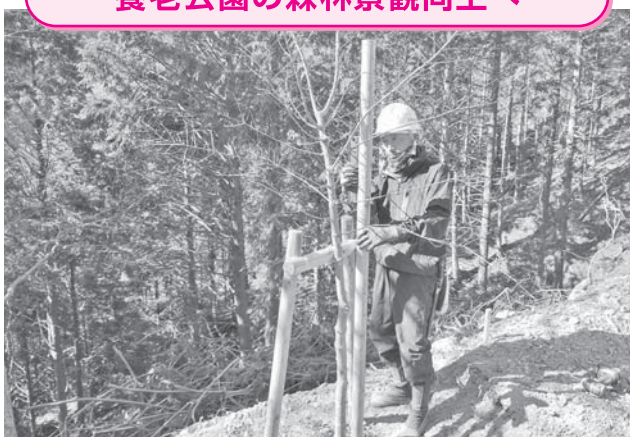
### 地域の安心と安全を守る決意新たに



4月5日(日)に町総合体育館において令和8年度養老町消防団入退団式が開催されました。退団者への感謝状の授与、新入団員をはじめとした団員への辞令の交付が行われた後、伊藤勝則消防団長から訓示があり、町消防団員として地域の安心と安全を守っていくにあたって必要な心構えについて再確認しました。

また、入退団式の後は、消防操法の講習会が行われるとともに、新入団員を対象とした消防団制度や活動内容、位置付けなどに関する講習会も行われました。参加した団員は、地域の消防・防災の要となり、有事の際には町民を守る消防団員としての心得について熱心に学んでいました。

### 養老公園の森林景観向上へ



岐阜県観光景観林整備事業の一環として、養老公園から養老山頂へと続く養老山頂登山道周辺において、森林景観を向上させるための間伐およびサクラとモミジの植栽を実施しました。

この取り組みは令和元年度から毎年実施しており、じっくり年月をかけて養老公園周辺の景観を向上し、価値を高めることで観光客を呼び込むとともに、自然環境を維持していくためにも重要な役割を果たしています。

養老公園周辺を訪れた観光客を美しい自然でおもてなしするため、今後も継続して整備を実施していきます。

### 深く胸に刻まれる“薩摩義士の偉業”



4月10日(金)に池辺公民館にて、町薩摩義士顕彰会主催の薩摩義士春季慰霊祭が開催されました。今年も昨年と同様に、天候不良のため池辺公民館での開催となりましたが、薩摩義士たちの冥福を祈るため、多くの来賓や地域の関係者が参加し、池辺小学校児童と養老薩摩義士踊り保存会による踊りが奉納されました。

樋渡聡会長は祭文奏上の中で「今日のような隆盛を見るまでに発展をしましてまいりましたのも、身を挺して難工事に挑み、治水の基礎を築き、我が町を守り続けてくださった義士の皆さまの御神徳の賜であります」と述べ、今の私たちの生活があるのは薩摩義士による命を懸けた治水工事のおかげであることを改めて深く胸に刻みました。